



Title	青森県太平洋岸沖から記録された3種の魚類
Author(s)	宮原, 一; 今村, 央; 石戸, 芳男
Citation	北海道大学水産科学研究彙報, 53(1), 37-40
Issue Date	2002-03
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/21963
Type	bulletin (article)
File Information	53(1)_P37-40.pdf



[Instructions for use](#)

青森県太平洋岸沖から記録された3種の魚類

宮原 一¹⁾・今村 央²⁾・石戸 芳男³⁾

Three Northern Records of the Fishes from the Pacific Coast of Aomori Prefecture, Japan (Pisces: Teleostei)

Hajime MIYAHARA, Hisashi IMAMURA and Yoshio ISHITO

Abstract

A single specimen of synodontid lizard fish, *Saurida elongata* (Temminck & Schlegel, 1846) (HUMZ 175823), an emmelichthyid roser, *Erythrocles schlegelii* (Richardson, 1846) (HUMZ 175822), and five specimens of cepolid bandfish, *Cepola schlegelii* (Bleeker, 1854) (HUMZ 175825-175829) were collected off the Pacific coast of Aomori Prefecture, Japan, in January 2001. The specimens represent the first records of these species from the area, and also the northernmost records of these species in the Pacific Ocean.

Key words: *Saurida elongata*, *Erythrocles schlegelii*, *Cepola schlegelii*, Aomori Pref., Pacific, First record, Northernmost record

2001年1月に青森県太平洋岸沖から1個体のエソ科魚類 Synodontidae とハチビキ科魚類 Emmelichthyidae, および5個体のアカタチ科魚類 Cepolidae が採集された。これらの標本を分類学的に詳細に調査した結果, マエソ属 *Saurida* のトカゲエソ *S. elongata*, ハチビキ属 *Erythrocles* のハチビキ *E. schlegelii* およびスミツキアカタチ属 *Cepola* のスミツキアカタチ *C. schlegelii* と同定された。これら3種は日本海側では青森県からの報告があるが(塩垣, 1982), 太平洋側においてはトカゲエソは岩手県船越湾から宮城県までと, 高知県から知られ(丸山, 1971; 佐藤, 2001; 座間, 2001), ハチビキとスミツキアカタチは本州中部以南あるいは南日本に分布するとされている(荒賀, 1988; 望月, 1988; 岡村, 1997; 波戸岡, 2000; 中坊, 2000)。したがって, 本研究ではこれら3種を青森県太平洋岸からの初記録種とするとともに, 太平洋側での分布の北限記録として報告する。

計数計測方法は Hubbs and Lagler (1958) に従った。観察した個体は北海道大学大学院水産科学研究科多様性生物学講座 (HUMZ) に魚類標本として登録されている。

稿を進めるにあたり, ご指導いただいた北海道大学大学院水産科学研究科の仲谷一宏教授と矢部 衛助教授, 標本を送付して下さった独立行政法人水産総合研究センター東北水産研究所八戸支所の服部 努博士, および英文要旨

を校閲して下さった University of Washington の Erin L. MacDonald 氏に対し, 謹んで感謝の意を表する。

トカゲエソ

Saurida elongata (Temminck & Schlegel, 1846) (Fig. 1)

材料

HUMZ 175823, 1個体, 標準体長 301.0 mm, 青森県八戸市沖, 底曳網, 2001年1月13日。

記載

背鰭鰭条数 11, 臀鰭鰭条数 10, 胸鰭鰭条数 14, 腹鰭鰭条数 9, 尾鰭主鰭条数 19, 脊椎骨数 58, 側線鱗数 60, 側線上方横列鱗数 5, 側線下方横列鱗数 7, 鰓条骨数 15。

頭長 21.9% (体長に対する百分率, 以下同様), 体高 13.1, 体幅 14.8, 尾柄長 14.6, 尾柄高 5.7, 吻長 5.4, 眼窩径 3.6, 両眼間隔 5.8, 上顎長 14.5, 下顎長 16.0, 胸鰭長 12.7, 腹鰭長 17.8, 背鰭基底長 11.4, 吻長 24.9% (頭長に対する百分率, 以下同様), 眼窩径 16.4, 上顎長 66.3, 下顎長 73.0。

体は円筒形で延長し, わずかに縦扁する。吻は短く, その上縁は直線状を呈する。口は大きく, 上顎後端は鰓蓋上端直下に達する。上顎は下顎よりわずかに突出する。内側にわずかに湾曲した微小な可倒歯で形成される歯列が上顎

¹⁾ 北海道大学大学院水産科学研究科多様性生物学講座
(Laboratory of the Marine Biodiversity, Graduate school of Fisheries Sciences, Hokkaido University)

²⁾ 北海道大学総合博物館
(The Hokkaido University Museum)

³⁾ 八戸市湊高台
(Minatotakadai, Hachinohe, Japan)

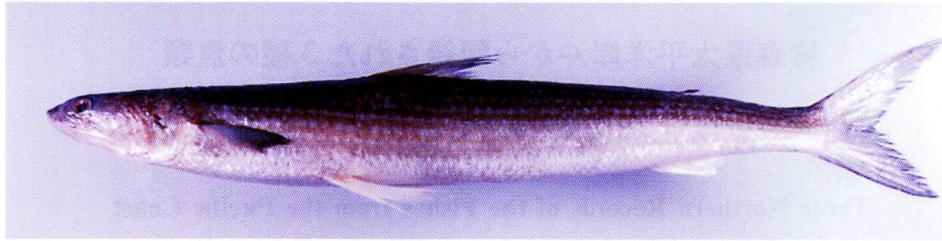


Fig. 1. Lateral view of *Saurida elongata*, HUMZ 175823, 301.0 mm SL, off Hachinohe, the Pacific coast of Aomori Pref.

に3~5列, 下顎に3~9列ある。閉顎時, 両顎歯は露出する。鋤骨, 口蓋骨, 内翼状骨, 外翼状骨および基舌骨上に歯がある。上顎歯列の内側に, 口蓋骨歯と外翼状骨歯, および内翼状骨歯のそれぞれから形成される2歯帯がある。胸鰭は短く, その後端は腹鰭起部の直上に達しない。尾鰭は2叉する。体側後部に1本の隆起縁がある。

カラー写真に基づく生鮮時の体色は暗褐色で, 腹面はやや明るい。胸鰭と尾鰭下葉は暗色を呈する。

分布

本種は青森県から九州西岸までの日本海側沿岸, 青森県八戸沖から宮城県までと高知県の太平洋岸, 瀬戸内海, および南シナ海に分布する (丸山, 1971; 塩垣, 1982; 町田, 1988; 野村・塩垣, 1992; 山田, 2000; 佐藤, 2001; 座間, 2001; 本研究)。

備考

本標本は上顎歯列の内側に2歯帯を持つことによりマエソ属に属する (Randall, 1995; 山田, 2000; 佐藤, 2001)。さらに, 本標本は脊椎骨数が58であること, 側線鱗数が60であること, 胸鰭が短く, その後端が腹鰭起部の直上に達しないことなどの特徴を持つ。これらは山田 (2000) が示したトカゲエソの特徴によく一致する。したがって, 本研究では本標本をトカゲエソに同定した。

ハチビキ

***Erythrocles schlegelii* (Richardson, 1846)**

(Fig. 2)

材料

HUMZ 175822, 1個体, 標準体長 282.0 mm, 青森県六ヶ所村沖, 底曳網, 2001年1月22日。



Fig. 2. Lateral view of *Erythrocles schlegelii*, HUMZ 175822, 282.0 mm SL, off Rokkasyo, the Pacific coast of Aomori Pref.

記載

背鰭鰭条数 X-I, 11; 臀鰭鰭条数 III, 10; 胸鰭鰭条数 20; 腹鰭鰭条数 I, 5; 尾鰭主鰭条数 17; 脊椎骨数 10+14; 側線鱗数 63; 側線上方横列鱗数 10; 側線下方横列鱗数 17; 鰓条骨数 7。

頭長 29.2% (体長に対する百分率, 以下同様), 体高 23.5, 体幅 15.3, 尾柄長 17.5, 尾柄高 6.7, 吻長 8.4, 眼窩径 8.0, 両眼間隔 7.0, 上顎長 12.5, 下顎長 12.8, 胸鰭長 19.7, 腹鰭長 16.2。吻長 28.7% (頭長に対する百分率, 以下同様), 眼窩径 27.3, 上顎長 42.8, 下顎長 43.9。

体は延長した紡錘形で, やや側扁する。口は斜位で, 開顎時, 上顎はよく伸出する。閉顎時, 下顎は上顎より前方に突出する。両顎と口蓋骨に微小歯がある。鋤骨と基舌骨は歯を持たない。鰓腔後縁に2つの肉質突起がある。背鰭は2基で, 第1背鰭と第2背鰭は接する。尾鰭は深く2叉する。尾柄側面に1本の明瞭な隆起縁がある。

カラー写真に基づく生鮮時の体色は, 背面が暗赤色で, 腹面はやや明るい赤色を呈する。各鰭は淡い赤色。

分布

本種は青森県の日本海側と六ヶ所沖, 南日本, 九州-パラオ海嶺, 沖縄舟状海盆, 韓国および南アフリカに分布する (Heemstra and Randall, 1977; 塩垣, 1982; 波戸岡, 2000; 本研究)。

備考

本標本は背鰭が2基で, 両鰭が接することによりハチビキ属に属する (Heemstra and Randall, 1977; 波戸岡, 2000)。さらに, 鰓腔後縁に2つの肉質突起があること, 尾柄側面に1本の明瞭な隆起縁があるなどの特徴を持つ。これらは Heemstra and Randall (1977) と波戸岡 (2000) が示したハチビキの特徴によく一致する。よって, 本研究では

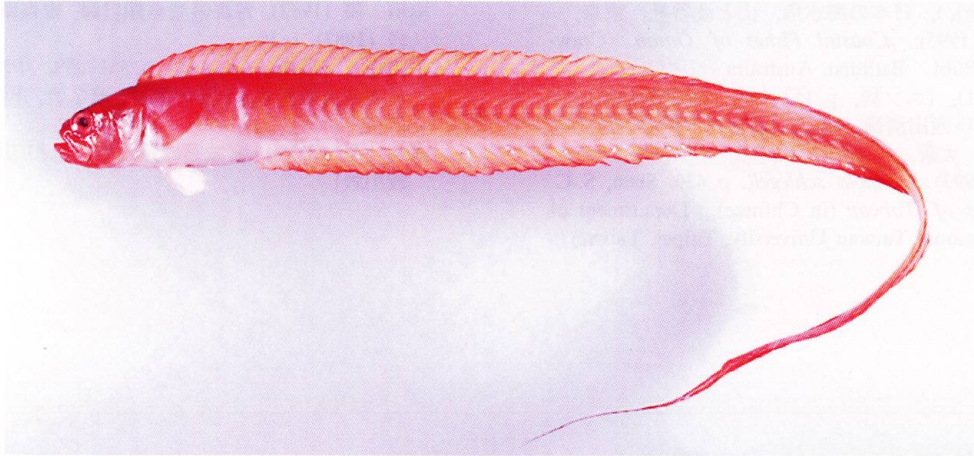


Fig. 3. Lateral view of *Cepola schlegelii*, HUMZ 175825, 453.0 mm SL, off Hachinohe, the Pacific coast of Aomori Pref.

本標本をハチビキと査定した。

スミツキアカタチ

Cepola schlegelii (Bleeker, 1854)

(Fig. 3)

材料

HUMZ 175825-175829, 5 個体, 標準体長 435.0-479.0 mm, 青森県八戸市沖, 底曳網, 2001 年 1 月 11 日。

記載

背鰭鰭条数 68-70; 臀鰭鰭条数 61-64; 胸鰭鰭条数 18-20; 腹鰭鰭条数 I, 5; 尾鰭主鰭条数 6-7+6-7=12-13; 脊椎骨数 14-15+56=70-71; 鰓条骨数 6。

頭長 8.0-8.7% (体長に対する百分率, 以下同様), 前背鰭長 7.0-7.5, 前臀鰭長 15.3-16.2, 眼窩径 2.2-2.5, 両眼間隔 1.3-1.5, 上顎長 3.5-3.8, 下顎長 4.0-4.4, 胸鰭長 4.5-5.0, 腹鰭長 4.8-5.7, 尾鰭長 14.9-19.1。吻長 17.7-19.9% (頭長に対する百分率, 以下同様), 眼窩径 27.5-29.4, 両眼間隔 16.4-18.3, 上顎長 43.4-46.0, 下顎長 49.9-52.2。

体は著しく延長し, 帯状を呈する。口は斜位で, 上顎後端は眼窩中央下を越える。下顎は上顎より前方に突出する。下顎前部の歯は 2 列に配列し, 下顎の他の歯と上顎歯は 1 列に並ぶ。鋤骨, 口蓋骨および基舌骨は歯を持たない。前鰓蓋骨後下縁に棘がない。背鰭と臀鰭基底は長く, 背鰭後端と臀鰭後端は鰭膜によってそれぞれ尾鰭基部と尾鰭条下端につながる。尾鰭中央の 1-3 条は著しく伸長し, 糸状を呈する。

カラー写真に基づく体色は橙色を呈し, 腹部は白色を帯びる。前上顎骨と主上顎骨間の膜上に細長い 1 黒色斑がある。肛門直上の体側に銀白色の 1 横斑がある。

分布

本種は青森県の日本海側と八戸沖, 本州中部以南, 台湾およびインドネシアに分布する (塩垣, 1982; Gloerfelt-Tarp and Kailola, 1984; 荒賀, 1988; Shen, 1993; 中坊, 2000; 本研究)。

備考

本標本は背鰭条数が 68-70 であること, 前鰓蓋骨後下縁に棘を持たないこと, 主上顎骨と前上顎骨間の膜上に細長い 1 黒斑を有すること, および肛門直上の体側に銀白色の 1 横斑があることでスミツキアカタチ属のスミツキアカタチに同定された (荒賀, 1988; 岡村, 1997; 中坊, 2000)。

引用文献

- 荒賀忠一 (1988). (アカタチ科, p. 195, pl. 192-A, 益田一・尼岡邦夫・荒賀忠一・上野輝彌・吉野哲夫 (編)), 日本産魚類大図鑑, 第 2 版, 東海大学出版会, 東京.
- Gloerfelt-Tarp, T. and Kailola, P.J. (1984). *Trawled fishes of southern Indonesia and northwestern Australia*. Austr. Develop. Assist. Bureau, Direct. Gener. Fish., Indonesia, and German Agency Tech. Coop., xvi+406 pp., 3 pls.
- 波戸岡清峰 (2000). (ハチビキ科, p. 818, 中坊徹次 (編)), 日本産魚類検索, 全種の同定, 第 2 版, 東海大学出版会, 東京.
- Heemstra, P.C. and Randall, J.E. (1977). A revision of the Emmelichthyidae (Pisces: Perciformes). *Aust. J. Mar. Freshwater Res.*, 1977, 361-396.
- Hubbs, C.L. and Lagler, K.F. (1958). *Fishes of the Great Lakes Region*. *Bull. Cranbrook Inst. Sci.*, (26), i-xv, 1-213, pls. 1-44.
- 町田吉彦 (1988). (エソ科, p. 61-62, pl. 62-F, 益田一・尼岡邦夫・荒賀忠一・上野輝彌・吉野哲夫 (編)), 日本産魚類大図鑑, 第 2 版, 東海大学出版会, 東京.
- 丸山 潔 (1971). 岩手県産魚類目録, 岩手水試研報 (1), 1-70.
- 望月賢二 (1988). (ハチビキ科, p. 155-156, pl. 145-E, 益田一・尼岡邦夫・荒賀忠一・上野輝彌・吉野哲夫 (編)), 日本産魚類大図鑑, 第 2 版, 東海大学出版会, 東京.
- 中坊徹次 (2000). (アカタチ科, p. 915, 中坊徹次 (編)), 日本産魚類検索, 全種の同定, 第 2 版, 東海大学出版会, 東京.
- 野村義勝・塩垣 優 (1992). 下北半島牛滝産魚類目録補訂-1, 青森県水産増殖センター研究報告 (7), p. 1-7, pl. 1-7.
- 岡村 収 (1997). (アカタチ科, p. 432, 岡村 収・尼岡邦

- 夫 (編・監修),). 日本の海水魚. 山と溪谷社, 東京.
- Randall, J.E. (1995). *Coastal Fishes of Oman*. Crawford House Publ. Bathurst, Australia.
- 佐藤友康 (2001). (エソ科. p. 152-153, 中坊徹次・町田吉彦・山岡耕作・西田清徳 (編),). 以布利 黒潮の魚. 大阪海遊館, 大阪.
- Shen, S.-C. (1993). *Cepola schlegeli*. p. 436, Shen, S.-C. (ed.). *Fishes of Taiwan* (in Chinese). Department of Zoology, National Taiwan University, Taipei, Taiwan.
- 塩垣 優 (1982). 青森県産魚類目録. 青森県水産試験場報告 (1982), 1-36.
- 山田梅芳 (2000). (エソ科. p. 351-358, 中坊徹次 (編),). 日本産魚類検索. 全種の同定. 第2版. 東海大学出版会, 東京.
- 座間 彰 (2001). 宮城県の魚類相. 三和印刷, 石巻. (自費出版)